

# 堺市ごみの減量化等に関する市民意識調査報告書

## 概 要 版

平成25年1月

堺 市

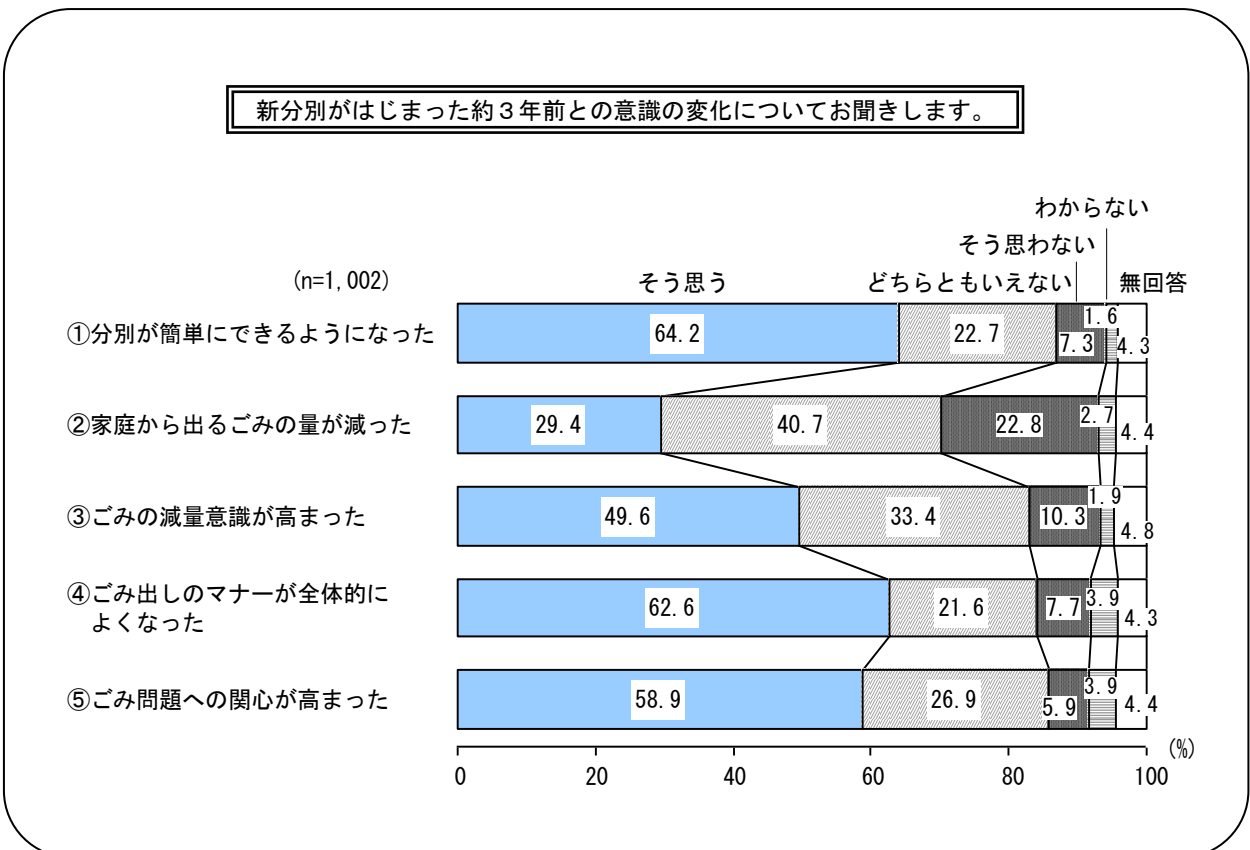
# 1 調査概要

- ・調査目的：ペットボトル、プラスチック製容器包装、小型金属を加えた新たな分別体制となってから約3年が経過し、市民のごみ問題やリサイクルに対する意識の変化を把握するとともに、今後の施策展開と啓発活動促進のための基礎資料を得ることを目的として調査したものです。
- ・調査対象者：平成21年10月以前より市内在住の20歳以上の無作為に抽出した市民
- ・標本数：2,000人（有効回収数：1,002人 回収率50.1%）
- ・調査期間：平成24年11月14日～11月30日
- ・調査方法：アンケート方式（郵送による配布・回収）

# 2 調査結果

## ◆意識の変化について

分別への取り組みやすさ、地域のごみ出しマナーの点で6割以上の方が良くなっていると感じています。また、ごみ問題への関心が高まったと感じている方も約6割を占めるなど、全体的に意識の向上が見られ、新分別体制の成果が見られます。



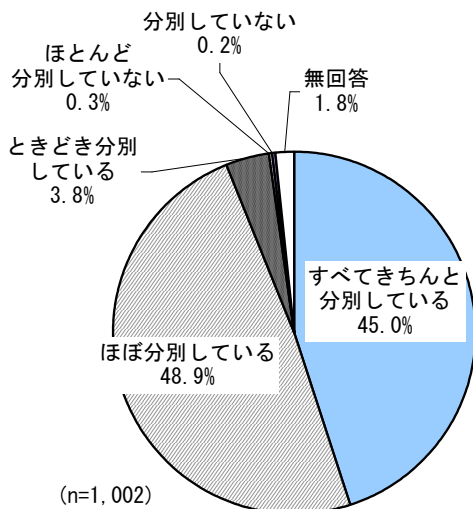
## ◆ 普段のごみ出しについて

分別状況を見ると9割強の方が分別を実践しており、そのうち7割以上の方が分別の種類（数）について、「満足」「どちらかといえば満足」と答えています。

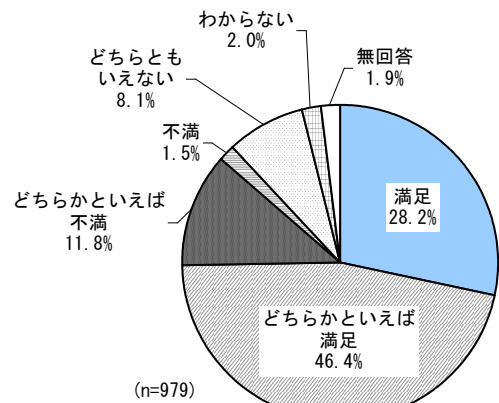
地域・集合住宅のごみ集積場では、多くの方が「カラスや猫などに荒らされる」「分別ルールが守られていない」「関係ない人がごみを持ち込んでいる」ことなどに困っています。

ごみと資源の収集回数については、7割以上の方が今のままでよいと答えています。

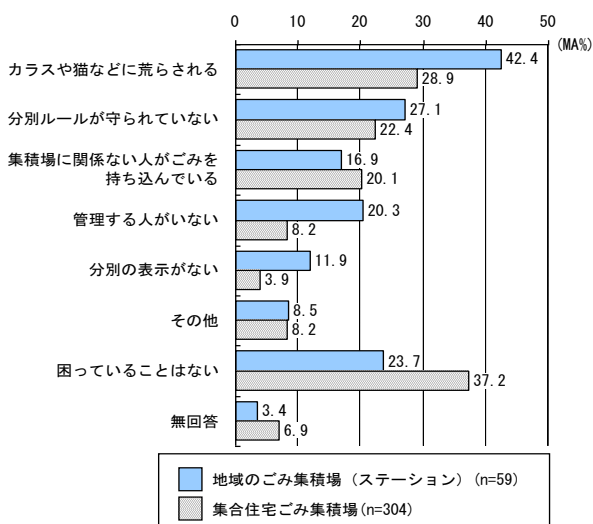
ごみと資源（缶・びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装、小型金属）を分別していますか。  
※美原区は古紙類を含みます。



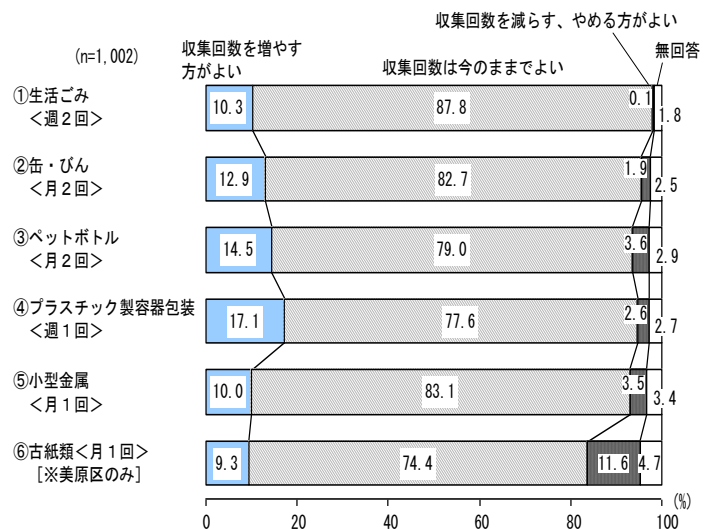
分別の種類（数）について



地域のごみ集積場（ステーション）または集合住宅ごみ集積場で、困っていることは。



ごみと資源の収集回数について



## ◆現在の取り組みについて

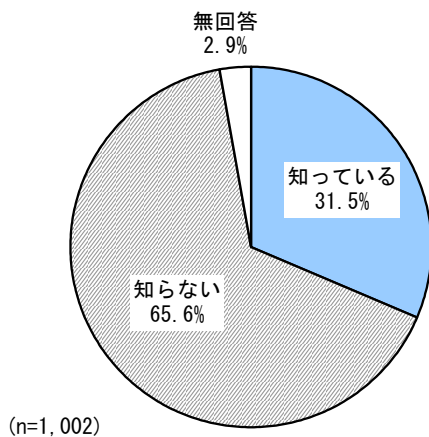
市がごみの発生・排出抑制、減量化の基本方針としている「ごみの4R運動」の知名度は約3割に過ぎませんが、日常生活の中で多くの市民の方が「詰め替え用商品を購入する」「生ごみは水切りしてから捨てる」「マイバッグの使用」など4Rに関する行動を実践しています。

市の刊行物やホームページなどによる啓発・情報提供については、約5割の方しか「十分」「ある程度十分」と答えておらず、「広報さかいで定期的に特集を組む」、「折り込みチラシを入れる」などの新たな工夫が求められています。

また、今年度誕生したごみ減量マスコットキャラクター「ムーヤん」を活用した、啓発や情報発信の展開も期待されています。

さらに、「ごみ出しマナーの向上やごみの減量化・資源化につながる」「ごみ問題やリサイクルなどを身近に感じることができる」などの理由により、約6割の方が、講習会等の充実について、「重要」「どちらかといえば重要」と答えています。

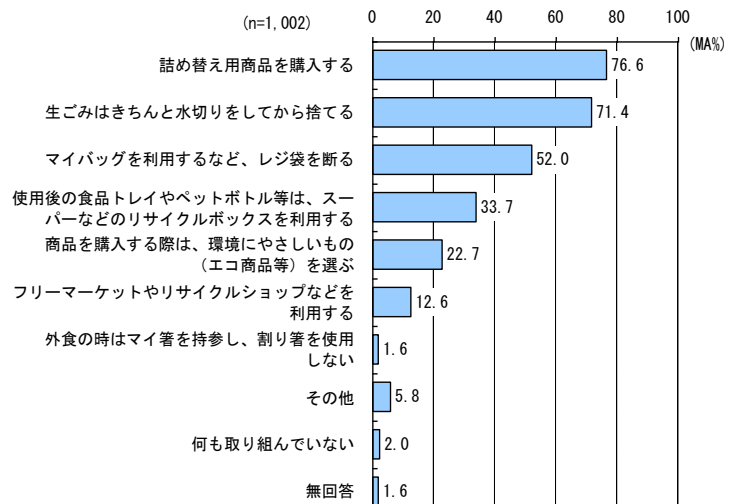
「ごみの4R運動」という言葉を知っていますか。



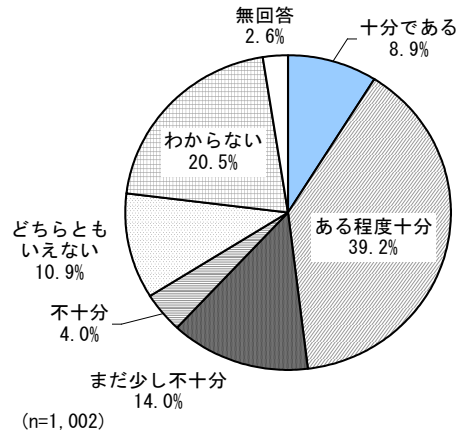
「ごみの4R運動」とは？

- ・リフューズ（断る）
- ・リデュース（減量する）
- ・リユーズ（繰り返し使う）
- ・リサイクル（再資源化する）

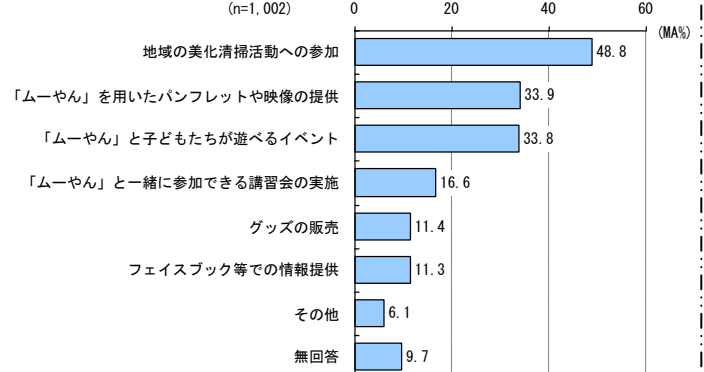
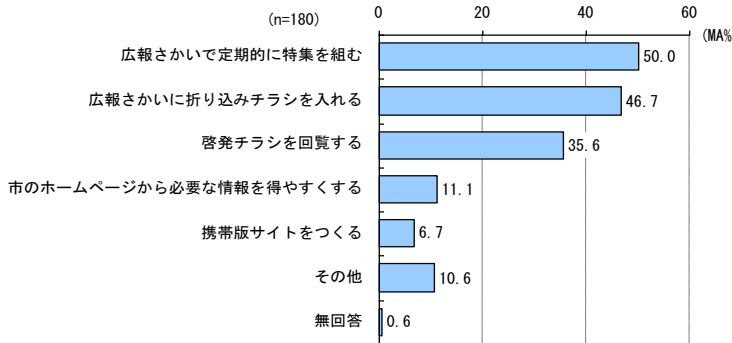
日頃取り組んでいるものはありますか。



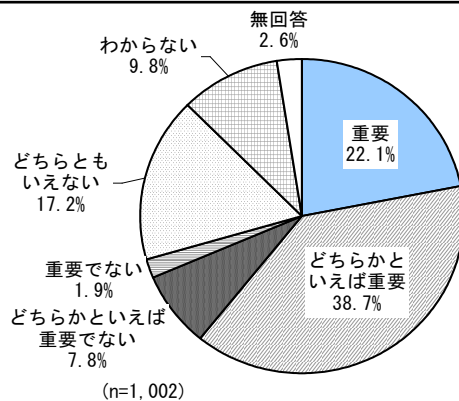
広報さかいなどの刊行物や市のホームページなどによる、ごみの減量化等に関する啓発や情報提供は十分ですか。



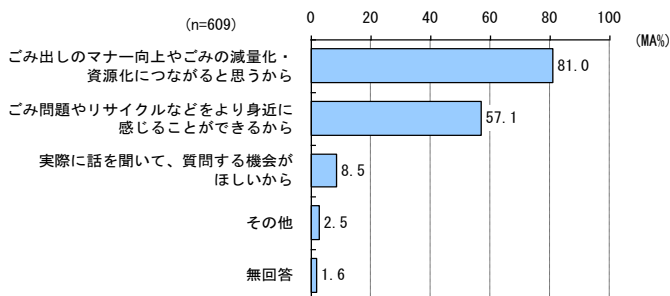
市からの情報をより分かりやすく市民の方に提供する工夫、マスコットキャラクターの活用方法についてどう思いますか。



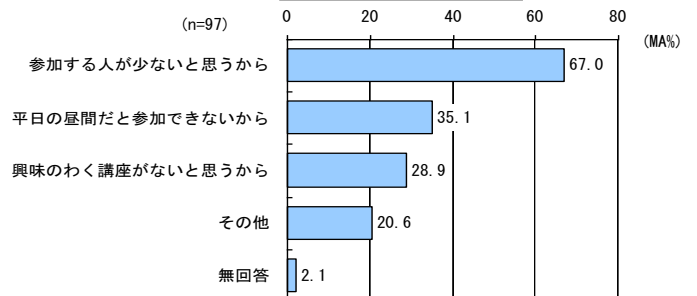
ごみ減量や資源化の取り組みに関する講習会等の充実について、どう思いますか。



重要である理由



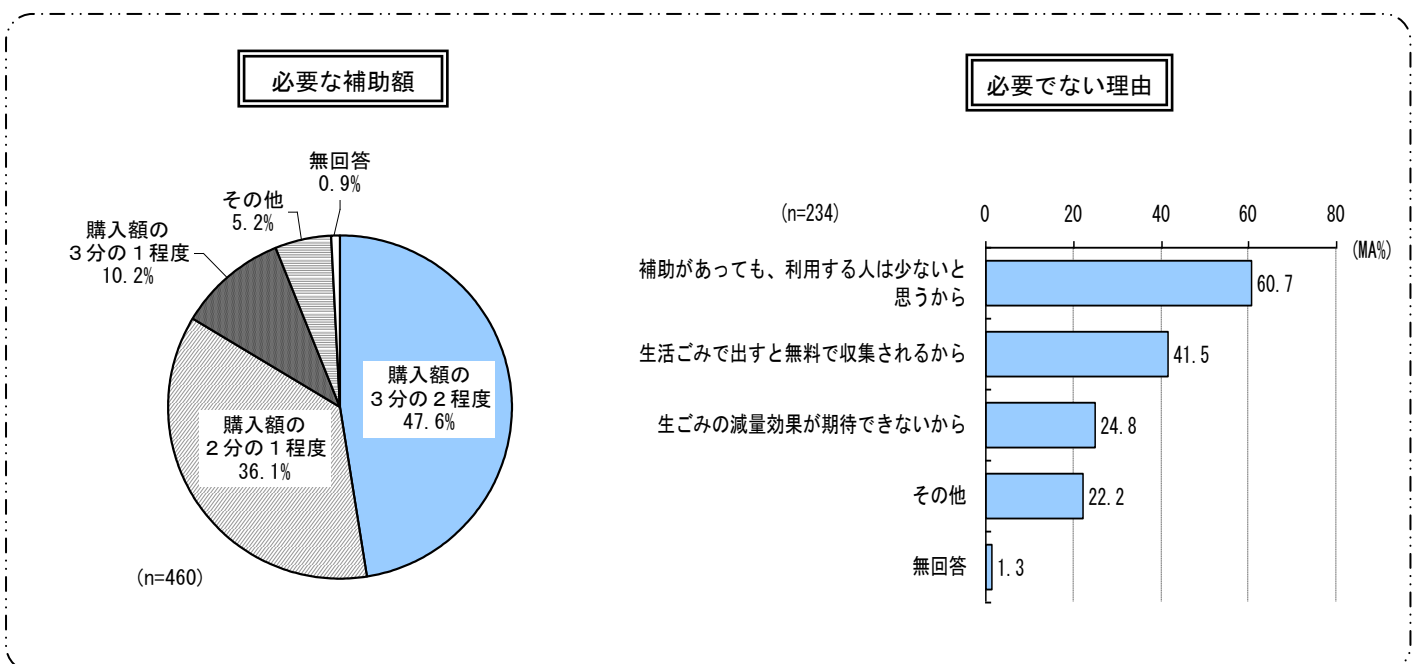
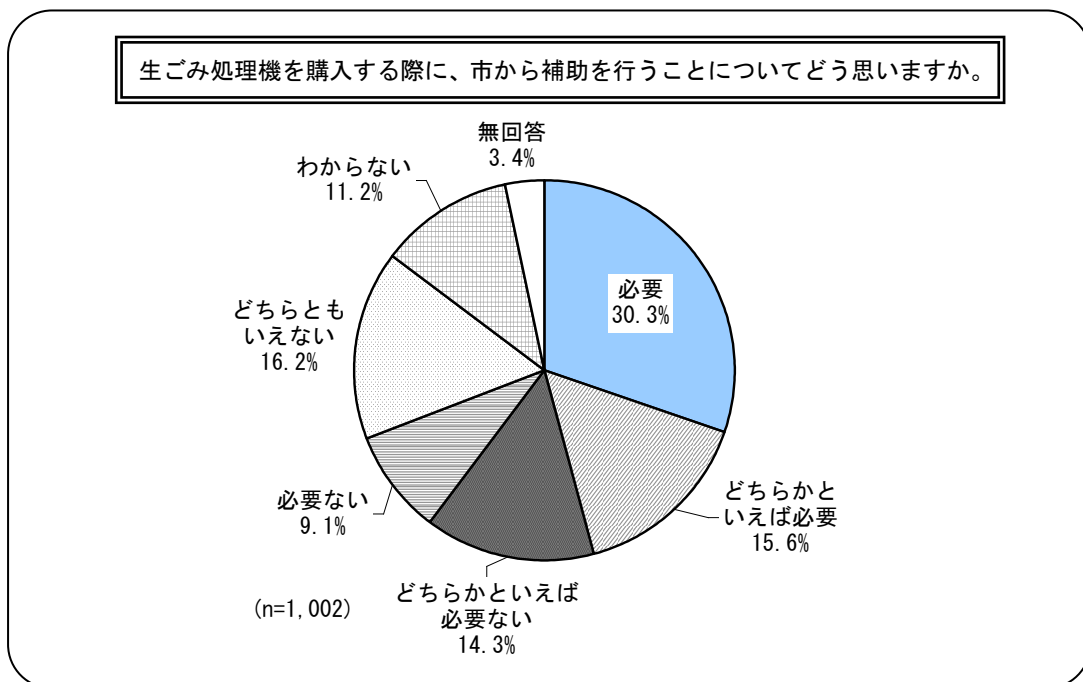
重要でない理由



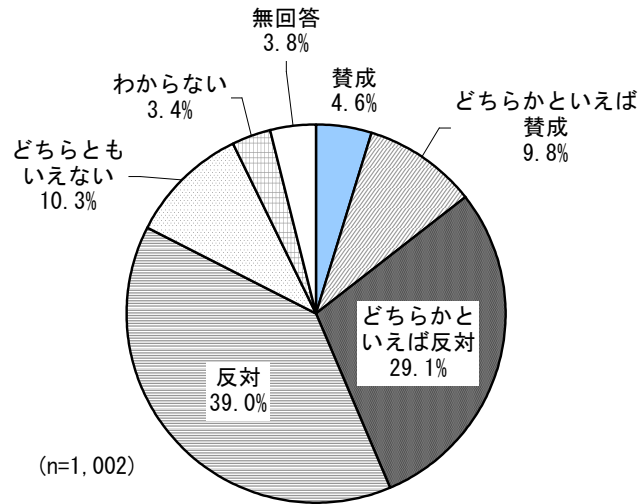
## ◆今後の市の取り組みについて

ごみを減量する手段としての生ごみ処理機の活用では、購入する際の市からの補助制度について約5割の方が「必要」「どちらかといえば必要」と答えており、その際、大半の方が高額な補助額がないと取り組むことができないと考えています。一方で、約2割の方が、「補助があっても利用する人が少ないと思う」「生活ごみで出すと無料で収集される」などの理由により、「必要ない」「どちらかといえば必要ない」と答えています。

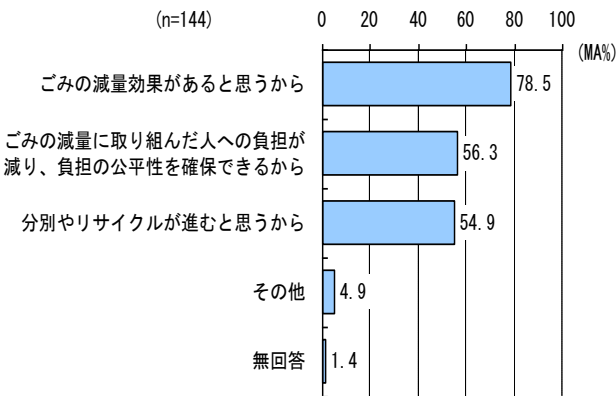
家庭系ごみ有料化制度の導入については、「家計の圧迫」「不法投棄の増加」が懸念されるため、約7割の方が反対意見となっています。一方で、わずかですが「負担の公平性の確保」「ごみの減量効果の期待」により賛成意見もあります。



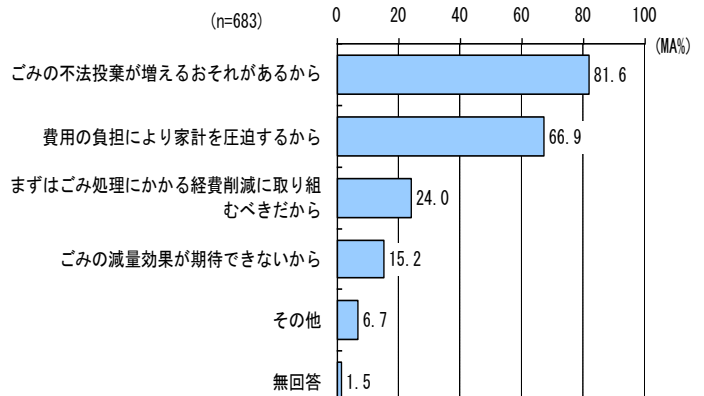
各家庭から出るごみの量に応じて処理料金を払う家庭ごみの有料化についてどう思いますか。



賛成理由



反対理由



### 3 最後に

新分別体制開始から約3年が経過し、分別への取り組みやすさ、ごみ出しマナー、ごみ問題への関心度において、約6割の方が向上していると感じており、新分別の成果が見られます。

また、分別の種類や収集回数など、普段のごみ出し状況についての満足度も概ね高い水準となっています。

ごみの4R運動についても、日常生活の中で多くの市民の方が実践していますが、一方で、市からのごみの減量化等に関する啓発や情報提供については、満足している方が5割弱といまだ十分であるとはいえず、より市民にわかりやすい新たな工夫を凝らすことが求められています。

今後は、積極的に地域に出向き、ごみ減量マスコットキャラクター「ムーやん」をきっかけに一人でも多くの人々にごみ問題に対して関心をもってもらい、啓発チラシ等を配布して更なる意識改革を図るとともに、清掃活動・分別体験などを通して、協働してごみの減量化・資源化に取り組む機会を設けてまいりたいと思っております。

みなさん、今後も引き続き、  
ごみの減量化・資源化にご協  
力をお願いします。



堺市ごみ減量マスコットキャラクター

ムーヤン

---

堺市ごみの減量化等に関する市民意識調査報告書 **概要版**（平成25年1月発行）  
堺市環境局環境事業部資源循環推進課  
〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号  
TEL 072-228-7479 FAX 072-228-7317

堺市行政資料番号：1-13-12-0321